

公共棧橋から屋形船

都と墨田区 観光クルーズの船着き場に

夜間や土日、民間開放

東京都と墨田区は公共棧橋や船着き場の民間開放を広げる。港湾管理などに利用する棧橋を観光用の船も利用できるようにして観光振興につなげる。東京スカイツリー近くの船着き場は夜間開放するなど対象を拡大。民間側も外国語案内の導入といったサービスを競っており、2020年五輪を控え国際的な観光資源としても注目される。



日本橋川や隅田川を巡る(東京湾クルージングが運航する船)

隅田川近くの船着き場の利用が進む

◎東京都が一般開放している防災船着場

東京スカイツリー
おしなり公園船着場
北十間川
吾妻橋船着場
両国国技館
浅草寺
桜橋
神田川
日本橋川
永代橋
越中島
明石町

船着き場	時期
越中島	2006年6月
明石町	11年7月
桜橋	12年5月
吾妻橋	13年6月
おしなり公園	14年7月(夜間を追加)

竹芝で試行開始

都は竹芝の公共棧橋を夜間と土日に限り不定期航路向けに開放する。今年度中に試行を始める予定。伊豆諸島へ向かう旅客船ターミナルとは別の棧橋だが、都心部と臨海部の両方に近く、レストラン船などの利用を見込んでいる。

都は日の出やお台場など8カ所に公共棧橋を所

船着き場は民間開放しても管理は行政が担当する。ところが、中央区の日本橋船着場は地元の三井不動産などで構成する「名橋」日本橋「保存会」が区の委託を受けて管理・運営する公設民営方式。11年度に始め、13年度の利用船数は約2800隻と2年で1.6倍に増え注目を集める。

船着き場の利用には事前申請が必要だが、協議会に入れば個人事業主でも利用

日本橋船着場 公設民営で利用1.6倍

できるよう工夫している。担当する同社日本橋街づくり推進部の新原昇平部長は「川を起点とした観光を広げていきたい」と意気込む。隅田川などを巡る東京湾クルージング(東京・江戸川)は、日本橋発の13年度運航回数が増加。利用した新潟県在住の岩崎麻由美(38)さんは「橋の裏側を見る機会があったので興奮した」と話している。

1.5倍に膨らんだ。海外客の乗船も多くなり、7月からは英語と中国語の案内アナウンスを始める。民間の小型船が相次ぎ参入しており、サービスを高める。

同区は13年6月、浅草芝を皮切りに、利用頻度が低い場所については需要を見極めて、開放を検討する。

墨田区は東京スカイツリー真正面のおしなり公園船着場の夜間開放を始める。13年度から昼間の利用を認めていた。7月下旬から9月にかけては午後8時まで実験的に使えるようにする。夜景を楽しむナイトクルージング

同区は13年6月、浅草芝を皮切りに、利用頻度が低い場所については需要を見極めて、開放を検討する。

「吾妻橋船着場」と改称民間開放した。13年度は屋形船などが延べ1763回利用し、観光需要の拡大につながっている。

船を使った観光が人気を集め、都公園協会が隅田川などで走らせる水上バス「東京水辺ライン」は12年度に年間利用者数が23万5千人と、5年で

観光汽船興業(東京・港)が13年7月に導入した小型船「リムジンボート」は高級感が話題になっている。船内は革張りのソファが並び、12人乗りで基本料金は6倍の2300回に増加。利用した新潟県在住の岩崎麻由美(38)さんは「橋の裏側を見る機会があったので興奮した」と話している。

隅田川を巡るルートで勝鬃橋や永代橋などの歴史を解説。佐藤美穂代表は「外国人旅行者から、東京の歴史をクルーズを通して知ることができた、と言われる」と語る。

隅田川沿いはもともと、屋形船や観光船の利用が盛んだったが、船着き場が増えると利便性は高まる。

都は越中島・明石町・桜橋の3カ所の防災船着場について、順次、民間開放を進めてきた。特に

小舟で英語案内

フロートイングライフ(東京・江東)が都内で運航する10人乗りの小舟「舟遊びみづは」は先行して英語案内を始め、本格的な英語対応が注目されている。日本橋川や隅

越中島は屋形船などの乗り降りに便利で、13年度は2625回の利用があった。

防災船着場は本来、災害で道路が寸断された際に物資を水上輸送するための施設。非常時に備えて、まずは場所を知ってもらおう狙いもあるという。